

放射能測定等、緊急の申し入れ

2017年6月22日

日本共産党流山市議団

千葉県教育委員会は6月12日、4月下旬から5月中旬にかけて、プール裏や側溝などで地表1メートルの高さで線量を計測した結果、同県柏市の県立高など5校の敷地内で国の基準値（毎時0.23マイクロシーベルト）を超える放射線量を計測したと発表した。生徒が日常的に立ち寄る場所ではないが、最大0.72マイクロシーベルトを検出したことから、周辺を立ち入り禁止にし、今後、除染作業を進めるとしている。

また今年2月、柏市の体育館の植え込みの地表面や敷地内の側溝汚泥が放置されている場所で、空間放射線量において高い数値が確認されたことを受け、野田市等では、公共施設敷地内の緊急点検を実施し、側溝の汚泥の有無、落ち葉等の有無の確認と測定結果を一覧にまとめて公表している。一方、本市では、環境部による各施設担当課との聞き取り、報告後、必要があれば調査するという方針が示されているものの、その結果は公表されていない。また、測定結果を公表している市ホームページでは、今年1月以降、測定が未実施の小中学校もあれば、H23年6月以降更新されていない児童館・児童センターも見られている。

そこで以下のことを強く求める。

記

- 1、柏市内で国基準を超える測定箇所が相次いで見つまっていることから、市内公共施設及び子どもが随時使う各施設について、再度、早期に点検・調査を行うとともに、これまでの測定箇所以外も含めきめ細かな測定を行うこと。
- 2、本市同様「放射能ホットスポット」となった近隣他市で行われている子どもの甲状腺エコー検査への一部助成を行うこと。

以上